

競技上の注意

令和7年度山口県中学校新人体育大会（卓球）

審判長 岡 崎 峰 之

1. 適用ルール等について

- ①令和5年6月1日一部改定の日本卓球ルールを適用して実施する。
- ②試合は11ポイント5ゲームで行い、3ゲーム先取とする。
- ③審判については、団体戦は「相互審判」、個人戦は「敗者審判」を基本とする。
- ④個人戦の1試合目の審判は2試合目の選手が2人で行う。

2. 試合方法、日程について

- ①2日とも 8:00 開場、8:00～8:50 受付、8:10～8:50 練習、9:00 試合開始。

但し、団体戦が2回戦からのチームは自チームの試合の40分前までに受付をすればよいこととする。

- ②団体戦のベンチに入ることができるのは、そのチームに在籍している生徒（6～8名）および監督1名・アドバイザー1名とする。
- ③試合開始又は終了時は台から1m以内に整列をし、挨拶をすること。終了時の挨拶後に相手ベンチに行かないで、直ちに次の試合の準備をすること。
- ④試合をする選手は最初に必ずラケットを見せ合うこと。その場でSR、エンドを決めて、練習を開始すること。
- ⑤試合前の練習は2分以内とし、審判はネットの延長戦上で台と台の中央に立ち、「ラヴオール」の宣告で試合を開始させ、競技者はすぐに試合を始めること。

3. ボール・ラケット・ラバーについて

- ①ボールはニッタク、バタフライ、VICTAS製の公認40mmホワイ球を使用する。ボール選択は試合毎に行う。
- ②ラケット本体に貼るラバーは、現在JTTAまたはITTFに公認されているラバーで、片方は黒、他方は明るい色のものとする。

4. 競技用服装について

- ①競技用服装（半袖シャツ、ショーツ、スカート）はJTTAの公認マークの付いているものを着用し、団体戦においては、チームの服装は靴と靴下以外は同一のもので競技することが望ましい。

5. サービスについて

- ①フリーハンド（手首から先）の手のひらを開き、自由に転がる状態でボールを乗せて静止させ、16cm以上ボールをほぼ垂直に投げ上げ、落下する途中を打球すること。
- ②①の間、ボールはエンドラインの後方で、台の高さよりも高い位置であること。
- ③ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアーム（腕）とフリーハンドをボールとネットとの間の空間の外に出すこと。

6. 促進ルールについて

- ①ゲーム開始後10分を経過しても終了しない場合に適用される。ただし、両方の競技者のポイントスコアの合計が少なくとも18ポイントに達している場合には適用されない。

7. アドバイス、タイムアウトについて

- ①個人戦のアドバイザー1名は準々決勝より認める。ただしベンチに入れるのは当該校の教職員、部活動指導員、登録コーチ、地域スポーツ団体は指導者のいずれか1名とする。
- ②タイムアウト（1分以内）は、団体戦は準決勝から、また個人戦は準々決勝から適用する。
団体戦で複数台を使用する試合では、アドバイザーもタイムアウトを要求することができる。
- ③競技者は、ゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間にのみアドバイスを受けることができるが、練習時間終了時とマッチ開始の間はアドバイスを受けることができない。

8. その他の注意事項

- ①競技日程・組合せ・試合予定時間・試合コートを確認し、コートへの入場は遅れることのないようにすること。タイムテーブルの時刻は競技開始時刻とする。
- ②競技の進行は、原則としてタイムテーブルによって行うが、試合を早めたり、進行の都合上コートを変更して行ったりする場合もあるので、放送には注意すること。
- ③フェアプレーに徹し、応援も節度をもって行いマナーアップに心がけること。
- ④幕・旗の掲示については、横幕は縦1m×横4mの範囲の大きさとし、校旗等は縦1.5m×2m以内とする。縦幕は許可しない。

会場使用上の注意事項

1. 上下足の区別をきちんとつけること。下駄箱に靴は置かず、シューズ袋に入れて各自で管理すること。
2. 観客席が狭いので座席の指定はしないが、1列目は観客用として試合が終わったらすぐに移動し、荷物を置いたままにしないこと。
2. 貴重品その他の所持品は、各自で管理すること。
3. ゴミや弁当ガラは、各自で持ち帰ること。
4. 体育館のフロアは、原則飲食禁止。水分補給のため飲み物を持ち込む場合は、床を塗らさないよう配慮すること。
5. 試合中、フラッシュを使用しての写真撮影は禁止する。

全国大会等への出場手続き

1. 団体の部で男女各1チームが3/28～29に静岡県浜松市で行われる全国選抜に、男女各3チームが2/7～8に岡山県美作市で行われる中国選抜に出場できる。
2. 個人の部で男女各3名が3/21～22に京王アリーナTOKYOで行われる東京オープンに、男女各4名が2/14～15にエディオンアリーナで行われる大阪オープンに、男女各8名が1/10～11にスカイホール豊田で行われる名古屋オープンに出場できる。
3. 出場権を得たチーム、個人でベスト16に入った選手は参加の意思を県専門委員長に伝えること。
16人以上の辞退者が出た場合は惜敗率によりランキングを決定し、上位の人から順に出場者を決定する。